

第3次愛荘町地域福祉活動計画中間評価について

(計画期間 令和4年4月～令和9年3月)



愛荘町地域福祉活動計画推進委員会
社会福祉法人愛荘町社会福祉協議会

第3次愛荘町地域福祉活動計画 中間評価

1. 計画概要

第3次愛荘町地域福祉活動計画は、住民や当事者・ボランティア、企業・団体・関係機関等の皆様のつながりを築き、安心して生活できる住み良い福祉のまちづくりを進めることを目的に、身近な福祉活動への参加や話し合いの場づくりを進め、福祉活動をみんなで進めるため4つの基本計画(プロジェクト)により推進しています。

★計画期間

令和4(2022)年度～令和8(2026)年度(5年間)

★計画体系

理念

「みんなで進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり」

目標

「みんながつながり みんながつながる福祉活動を進めます」

★基本計画・取り組み内容

①見守り・居場所プロジェクト

- a. 日頃の見守り活動を拡充します
- b. みんな(自治会や当事者、地元施設・企業)で進める居場所をつくります
- c. 企業・事業所・法人で取り組まれている社会貢献活動のメニューを作成します

②くらしサポートプロジェクト

- a. 地域福祉関係者と福祉関係機関・専門職が連携する場をつくります
- b. 身近で誰もが安心して利用できる相談窓口をつくります
- c. くらしの課題をみんなで検討するしくみをつくります

③福祉を伝えるプロジェクト

- a. 福祉を学べる・体験できる場づくりをさらに増やします
- b. 若い世代の福祉への関心を高めます
- c. 子どもたちの福祉学習をみんな(町内の学校や自治会・関係機関・団体など)で協力します

④福祉防災プロジェクト

- a. 防災を中心とした地域福祉活動をさらに話し合います
- b. 要配慮者が災害時に SOS の声を出せる地域をつくります
- c. みんな(住民と地元の福祉施設・企業、行政)で福祉防災活動を行います

2. 評価内容と方法

①プロジェクトごとの取り組みの評価

(評価内容)

- A 年度ごとの取り組み内容や活動成果・課題
- B 計画達成(2年後)にむけての目標や取り組み内容

②プロジェクトと連動する社会福祉協議会事業活動の実績

- A 年度ごとの実績

3.中間評価 総括

第3次愛荘町地域福祉活動計画では、4つの基本計画(以下、「プロジェクト」という。)ごとに住民、関係機関・団体、町内各種事業所・活動者が参画する推進体を設置し、「みんながつながり みんなでつながる福祉活動」を共通の目標として取り組みを進めました。

この推進体は、第2次愛荘町地域福祉活動計画より取り組みを始めた推進手法で、プロジェクトの目標達成にあたり、それぞれの取り組み内容を目的や課題から丁寧な協議を重ね、新たな取り組みへの提案や事業活動の展開、さらには、愛荘町社会福祉協議会で取り組む事業活動を充実するなどの成果が見られました。

見守り・居場所プロジェクトでは、プロジェクトの目標を「SOS を出せない方がSOS を出せるよう、近隣のみんながSOS をキャッチできるようなしくみをつくる」ため、見守りや居場所活動の推進を進めました。地域のサロン活動のアンケート調査や実際に取り組んでおられるサロンの視察、聴き取りを行いサロン活動者の支援が必要と考え「たのしいあつまり居場所塾」という交流や情報収集できる場を開催しました。

さらには、サロン活動に役立つ冊子を作成するため、企業やまちづくり活動者等の多様な方々に引き続き聴き取りを行っています。

くらしサポートプロジェクトでは、地域での困りごとについて民生委員・児童委員との意見交換を行い、地域での相談状況などを確認し、子ども・子育て世代とのつながりが少ないことから、こういった世代の相談窓口について考えていくこととなりました。

子どもや若者のサポートに携わる方々に、日頃の活動の中で感じておられることを話し合い、テーマごとに活動されている地域福祉活動者と連携できる場や、同じ悩みや価値観・共通の趣味の集まり等、自己開示しやすい場や機会づくり、多様な場や機会がみんなの最初の相談窓口となることが見い出せました。

福祉を伝えるプロジェクトでは、目標として「地域共生」をキーワードとして「福祉を見つける座談会」と「福祉体験型活動」、そして取り組みを発信する「SNSでの発信を検討する」の3つの取り組みを進めました。

座学と体験型の取り組みとして、「発達障がい」の体験学習を進めていくことになりました。取り組みの協議を進め、実際に活動されている団体や当事者団体などに聴き取りを行い、体験メニューを作成しました。完成した体験メニューを、まずは学校教員を中心とした研修を行い、皆様からの意見を参考に進めています。

今後は、当事者の方とも連携して分かりやすい体験メニューで、住民や子ども達等に伝える場を広めていき、障がいに対する理解を深めて地域共生に向けた取り組みを進めていきます。

福祉防災プロジェクトでは、「誰もとり残さない地域」を目指し、5つのステップの中間ゴールを設定して協議を進めてきました。

まずは、現状を知ることから始めるために、自治会内の防災活動や防災意識の

調査を行い、各自治会で取り組まれている避難訓練や見守りサポート会議での福祉防災の取り組みを啓発しました。

また、町内の学校や自治会・町のイベント等で、福祉防災に係る研修や体験・ゲームを活用した学びの場を実施し、町民への防災意識の向上を進めました。

これらの啓発活動と合わせて、具体的な福祉防災の取り組みとして、災害時避難行動要支援者となる方の避難について、自治会の避難訓練に取り入れた活動を長野西自治会で始めていただき、プロジェクトとしても関りを持ち他の自治会への提案や訓練支援を進めました。

今後は、自治会での話し合いの場と避難行動要支援者・福祉関係者・地域住民の連携を進めた避難訓練の企画に向けて検討を進めていきます。

第2次計画より進めているプロジェクト方式の計画推進は、年数を重ねていくごとに、町民の皆様や関係者が関り住民主体の取り組みを考え、試行的な取り組みを進められています。

計画全体を見ると各プロジェクトで進めている内容がつながる取り組みが多く出てきており、「つながりづくりからみんなでつながる福祉活動」へ広がり出してきたと考えています。

このようなテーマを設けた地域福祉活動の話し合いの場(プロジェクト活動)を、今後は、より多くの町民の皆様とテーマごとにお互いが対話と交流が出来るように進めます。

そのためにも参加者の声が活かせる場聞ける場と福祉人材の育成に向けて、第3次計画の後期に取り組みを進めていきます。

4.基本計画(プロジェクト)の評価

別添資料に記載しています。

5.プロジェクトにかかる社会福祉協議会事業活動実績 (令和4年度・令和5年度)

★見守り・居場所プロジェクト

・見守りサポート会議

各自治会単位での情報共有や懇談の場として実施。

令和4年度 職員派遣回数:17自治会 33回

令和5年度 職員派遣回数:16自治会 33回

・いきいき見守り訪問事業

地域の見守り体制の構築を目指し、一人暮らし高齢者や高齢者世帯を地域の見守り協力員がプレゼントを持って訪問し、安否確認を行う。

令和4年度 活動回数:年 22回 見守り登録者:64名

自治会数 15か所 配達ボランティア 3名 見守り協力員:47名

協賛品提供者:16団体・者

令和5年度 活動回数:年 22 回 見守り登録者:62 名
自治会数 16か所 配達ボランティア 1名 見守り協力員:46名
協賛品提供者:21団体・者

★くらしサポートプロジェクト

・心配ごと相談所

民生委員・児童委員、社協職員による総合相談を実施

令和4年度 開所日数:46 日 相談件数:11 件

令和5年度 開所日数:46 日 相談件数:6件

・福祉関係者地域連携会議

福祉関係者や民生委員・児童委員の情報交換の場

令和4年度 年 3 回 参加者総数 25 名

令和5年度 年1回 参加者総数 5 名

・包括的支援ネットワーク会議

困難事例など福祉課題に対して包括的な支援を考える場

令和5年度 年1回 参加者総数 7 名

★福祉を伝えるプロジェクト

・福祉教育コーディネート

町内学校や地域で福祉教育の推進のためコーディネートや講師

企業やボランティアの協力のコーディネート

令和4年度 年24回 参加者総数388人

令和5年度 年34回 参加者総数410人

・あいしょう福祉探偵団

学校の長期休みに福祉センター等を活用した子どもたちへの福祉体験学習

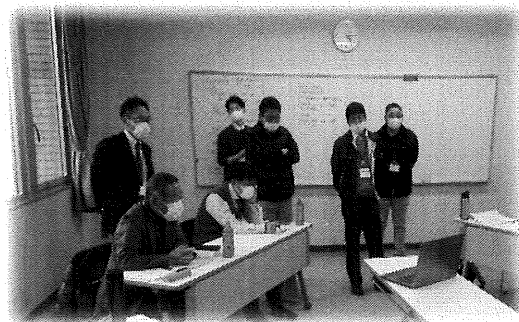
令和4年度 年2回 参加者総数 42 名

令和5年度 年1回 参加者総数38名

・福祉ふれあい講座

令和4年度 開催回数 2回 参加者総数67名

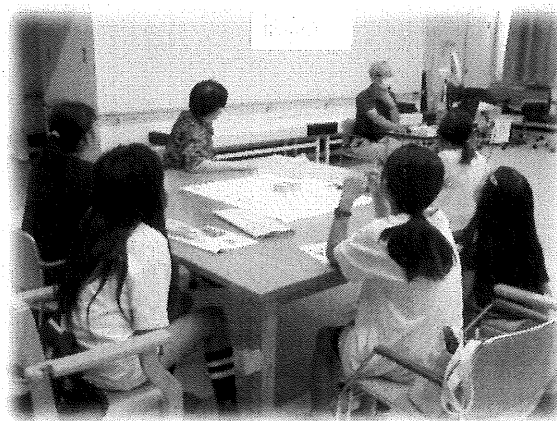
令和5年度 開催回数 1回 参加者総数37名



包括的支援ネットワーク会議
個別避難について検討しました



福祉教育
学校での体験学習



あいしょう福祉探偵
福祉の防災について学びました

★福祉防災プロジェクト

・災害ボランティアセンター設置運営準備活動

令和4年度 災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を愛荘町と締結

ボランティアセンター設置・運営マニュアルを作成

災害支援ボランティア 登録者数 個人登録 22名 グループ登録 1団体

災害ボランティアセンター設置運営訓練 町総合防災訓練は中止

災害ボランティアセンター設置運営訓練(机上訓練)

令和5年度 災害支援ボランティア登録数 個人登録 28名 グループ登録 1団体

災害ボランティアセンター設置運営訓練 年1回 参加者総数 19名

・災害ボランティア活動づくりの推進

災害ボランティアの養成と連携、災害支援のコーディネートを行う

令和4年度 災害被災地支援活動 実施なし

災害支援ボランティア養成研修 年2回 参加者総数 40名

令和5年度 災害被災地支援活動 実施なし。

地域の防災力アップ研修会 年1回 参加者総数 62名



見守りサポート会議議

自治会の見守りや防災などについての話し合いを行っています



災害支援ボランティア講座
ボラセンマッチングゲーム